

高齢者肺炎球菌ワクチン（23 価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン）

日常でかかる肺炎の原因菌で一番多いのが『肺炎球菌』によるもので、平成 26 年 10 月から高齢者への肺炎球菌ワクチンの接種が、定期予防接種（B 類疾病）になりました。

なお、B 類疾病の予防接種は、主に個人予防目的のために行うものであり、対象者は接種を受けるように努める義務はなく、自らの意思と責任で接種を希望する場合に接種を行うこととなります。意思確認が困難な場合は、必ず家族又はかかりつけ医の協力により対象者本人の意思確認をすることが必要です。

病気の説明

肺炎とは、細菌やウイルスなどが肺に入り込んで起こる病気です。その原因には多くの種類がありますが、成人肺炎の 25～40 パーセントが肺炎球菌によるものです。この肺炎球菌は健康な人の口の中にも常在しており、体力が落ちたときや高齢になって免疫力が弱くなってくると肺炎を引き起こします。

予防接種の効果

インフルエンザワクチンとの同時期での接種で、肺炎リスクの高い高齢者においては肺炎予防効果があるといわれています。

対象者・回数・接種期間・接種費用

- 対象者 ① 65 歳の方（66 歳の誕生日の前日まで）
- ② 60 歳以上 65 歳未満で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害により身体障害者手帳 1 級所持者
（②に該当する方のみ、事前に市での申請が必要です。）

★ただし、上記対象の方でも、今までに、23 価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチンを接種された方は、国の定めにより制度の対象にはなりませんのでご了承ください。

※丹波市外での長期入院・入所等により、市外での接種を希望される場合は、事前申請により接種が可能な場合があります。市ホームページをご確認いただくか、必ず接種前に市にお問い合わせください。

- 接種回数 1 回（健康手帳等に接種記録を残しておかれることをおすすめします。）

- 接種費用 自己負担あり（2,400 円） 接種後、医療機関でお支払ください。

※上記①または②の対象者に該当する生活保護費受給者の方は、医療機関窓口で予防接種カードと一緒に生活保護受給者証をご提示ください。自己負担分を減免いたします。

副反応と注意点

接種部位の疼痛、熱感、腫脹（はれ）、発赤がみられる場合があります。筋肉痛、倦怠感、違和感、悪寒、頭痛、発熱もありますが、いずれも軽度で 2～3 日で消失することがほとんどです。